



商工会女性部全国大会 浅利久美子さん優秀賞

11月25日、茨城県で開催された商工会女性部全国大会（主張発表大会）で、東北・北海道ブロック代表として発表した浅利久美子さんが優秀賞を受賞しました。

「貴重な体験ができ、感謝しています。これを機に女性部の団結力が尚一層強くなった気がします。今後も元気に活動していきます。応援ありがとうございました」

六つ目の地域運営体活動開始 雲沢地域運営体の設立総会

12月12日、雲沢集落センターを会場に雲沢地域運営体設立総会が開催されました。

設立総会では事業計画および予算の承認、役員を選出が行われ、今年度から地域振興のための事業を行う計画です。

出席した市長が「雲沢地域運営体が設立されたということは、雲沢という国ができたことと同じです。地域振興のために有効な事業を行ってください」と挨拶しました。

雲沢地域運営体が設立されたことで六つの地域運営体ができました。



第58回世古寸喜展 会場は大盛況

12月4日～6日、角館交流センターで第58回世古寸喜展が開催されました。同時に「晴陽会日本画展」「パッチワーク・キルト展」も開催され、たくさんのお客さんが鑑賞に訪れました。

小林和也代表より社会福祉協議会へ、売り上げの中から35万円が寄付されました。

6月の結成から3回の会議の他、分科会を経て提出された提言書には、地域の特性を活かし、誘客と活性化への15項目の内容がまとめられています。



このたび観光産業拠点特別区観光戦略会議（佐藤貢一郎会長）から市に、観光振興策への提言書が提出されました。

市観光戦略会議 提言書まとまる

12月12日、田沢交流センター体育館で田沢地区歳末たすけあい演芸会が開かれ、園児からシニアまで自慢の芸を披露。NPOたざわ村主催の村民文化祭も開催され、訪れた皆さんを楽しませました。

田沢地区 歳末たすけあい演芸会 芸自慢が会場賑わす



事件・事故のない年末・年始に パトロールや広報活動

事件・事故のない年末・年始を目指し、市内各支部の防犯関係者や仙北警察署員が「年末・年始の特別警戒」として、ロックパトロールや金融機関、コンビニ、飲食店等を巡回し、強盗等被害防止広報活動や暴排運動、未成年者に対する酒類等提供の絶無など広報活動を実施しました。（平成22年12月10日～平成23年1月3日）

教育委員に 河原田 修 氏

12月5日付けで、河原田修氏（角館町上菅沢）が仙北市教育委員会委員に就任しました。



貞子の心 ふたたび

秋田民謡を世に広め
その発展に大きく寄与した
佐藤 貞子
没後 60 年のいま改めて
その存在を見つめ直す

シンポジウム「佐藤貞子と秋田民謡」

日時 平成 23 年 1 月 15 日 (土)
13:00 ~ 16:00
会場 たざわこ芸術村 **入場無料**
ゆぼぼ本館「紫苑」

佐藤貞子フェスティバル

日時 平成 23 年 1 月 23 日 (日)
13:00 ~ 16:00
会場 わらび劇場 **入場無料**
第 1 部 記念講演 浅利香津代
「佐藤貞子の魅力」
第 2 部 芸能発表 貞子にささぐ

1 月 23 日の「佐藤貞子
フェスティバル」で記念講
演をされる女優・浅利香津
代さんから、手記を寄せて
いただきました。



浅利 香津代 さん

秋田の女 佐藤貞子との出会い

十八歳の春、「感動」の二文字を求め、日大芸術学部演劇学科へ。二十代、劇団新人会で怒鳴られっぱなし。三十代、劇団前進座で修行と全国巡演の日々。四十代、次々と来るテレビとたて続けのひと月興行の商業演劇に出演。五十代目前に情報過多悩症候群と故郷秋田、生みの親・育ての親への郷愁に襲われた平成四年、教え頂いている秋田の井上隆明先生から一冊の本『佐藤貞子と私』（佐藤章一著）と「香津代の仕事だ！」の手紙が届きました。一気に読み、まさに感動。秋田にこんなすごい女性がいたとは！

すぐ県内取材顕彰で歩きまわり、秋田出身の今野勉先生に脚本依頼。スタッフもほぼ秋田県出身者でかため、当時の田沢湖佐藤清雄町長のご理解で一行（裏方・表方）が町で合宿後、香津代自主企画公演「貞子」が秋田市で初日を開けたのはその二年後。秋田発信の舞台は東京公演・全国公演へと二五〇ステージも秋田弁での殴り込み公演をし、「秋田おぼこ貞子」をくつきり残したのでした。佐藤貞子、それは私にとって格別の存在、血のわきたちを覚える人物です。

主催

事務局

仙北市伝統文化活性化委員会
代表 大山人夫（仙北市芸術文化協会会長）
一般財団法人民族芸術研究所

44-3903



かくのだてフィルムコミッション
(仙北市観光課内)
TEL 43-3352 <http://kakunodate-fc.jp/>

かくのだて
F. C

ロケーションだより

明けましておめでとうござ
います。今年もかくのだてフイ
ルムコミッションをよろしく
お願い申し上げます。

昨年10月、茨城県水戸市に
ある、映画「桜田門外ノ変」オー
プンセットを見学して参りま
した。「茨城県の観光誘致につ
ながる映画を地元主導で作ら
ない」と地元有志約10名が準
備を始め、残っている史跡が
活用でき、まだ映画化されて
いないというテーマを探して
「桜田門外ノ変」に決定。佐藤
純彌監督が引き受けてくださ
り映画化が決まりました。
当初京都がロケ地として挙

がりましたが「ロケ地は水戸
でなければ意味が無い」と地
元が協力してオープンセット
を作ることを提案。多くのシー
ンが茨城県で撮れることを強
くアピールし、最初の狙い通
ることに。映画化支援の会の
方々を初め、茨城県民の熱意
が感じられました。
桜田門外周辺を再現した巨
大オープンセットは完成度が
高く、迫力がありました。こ
のオープンセットは映画公開
前で既に入場者数15万人。確
実に地元活性化に結びついて
いるようです。